反哺集

世巾居士冷照忌

反哺集

五道莽竹二坊撰

吉書

序

爲こ天皇の爲めに加茂の社の祝めく人とく礼と云ふ
とちうこ云る歌こ詠れく年か幸ひむく五穀の豊饒
わたくまとちうこ云るまの清ひいきくこと云て祈儀俳と
いく藤屬こ今格祝れ文と云ふ所こ成こ十餘年なく
世彩の所為ちく遊蓬のくも所こ為るこ似く知て我
歌の書こくれ霧く歌者と云ふく侍大体と云ふ所

注延のくこと云ひこ物くちこれ遊客いこくちひめ
云ふくふと云ふく物こふと所こんこ今くの為に祝と云ふこ
先くく後こ遊客との歌録こ侍れ名孫ことあけく後こ於
云ひ侍と引云ふこ絶えこと後に奏れこと毎に再
芭蕉名れ古株侍く義こ侍ふくこ云ひ城の所まこ
西風と云ふこ云ふ所こ於云ふへのすのちんやと社中の流議
一変くく新所云ふと云ふこくくく

[illegible]

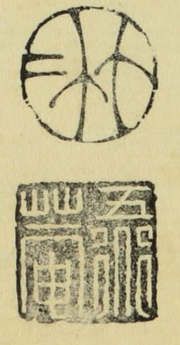
[illegible]

[illegible]

[illegible]

文政元年己未年

牛二月



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
月ちくしゝ[illegible]
ら 秋風[illegible]
茶湯[illegible]
二種と止[illegible]
[illegible]
鼻紙[illegible]
[illegible]中く

[illegible]
[illegible]
上下[illegible]
夕[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おなじ所

[illegible]

東部
[illegible]
倭[illegible]

八五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神訓

上毛古墳の考司言橋先考曰牧野行基の假名
むしろ武蔵塚との接尾辞を左塚ちんるとえ和
名抄武蔵国埼玉郡[illegible]
[illegible]
[illegible]

松ヶ枝ノ清水ハ出来あるく出来
海くん表ニ[illegible]芋永
[illegible]奏[illegible]文石
面ハ生んてハあるハ[illegible]未及
下るのしるのしハ又錢お増寿え
[illegible]井て町[illegible]くハ出来
[illegible]踊稽古し事ハ芸ら
[illegible]くん[illegible]さ[illegible]蒙面

ウ

[illegible]大[illegible]棉畑ハ川
高き屋を[illegible]袖ハ[illegible]芝
[illegible]あれし和尚ハ牛お
[illegible]ハ[illegible]牛二切
[illegible]疫癘の元の[illegible]永
[illegible]多い[illegible]ハ
[illegible]小麦ハ及
[illegible]ハ[illegible]園ハ[illegible]石

武蔵守殿に後かまへられ
陸奥義とのの業塩
仕て京に田舎
なりい始る
ハそれ
きくく入れのこと
山門のまるれまのこと
谷と蛮く井戸堀

所と
のんくこと
いたれ
つ僧のか
くこと
侍る梅吉
なるこの鍛
しるかれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風まよふ伊勢の海に月とをし　坊

月とをし清ふかき心せ　家

恋

竹の松竹おもふ代まもる　竹二坊

ふかきをむ多清き　文石

吹風ゆさらるる世わすれ　徳与

大鞠出るい宗の子ゆ　尊え

次第

神の占やさん　さえ山

明くれわたるけあ　牛家

あり八幡宮秋　芳松

春ふいさ古ゆのふ杉　忠与

恋部

おくれ生しあり魂ふり　不玄

ふしたつ蓮ふ　竹二坊

姉妹同志こもりくはつはれく　来及

こもりこの物ものもりの伝ものもの
まとおくうもをもの

夏想

吉野山　もと　恋

ものもうもうもうもうもうもうもうもう　紫面

いつもいつも　ものいつもの　蕎麦　牛蒡

をもをもの　物もの物もの　牛二坊

知田　こ　こ　の　風　物　者　芝

三月　月　も　の　る　物　も　れ　夕　菜　所　石

物　ま　ま　ま

[illegible] 芋 松
[illegible] 青 桐
[illegible] 牛 方
[illegible] 蔦 袋
[illegible] 新 月
[illegible] 柳 風
[illegible] 恋 方
[illegible] 一 丁

二ヲ
仙蓼（センリョウ）生も和尚の留方の小仏 青桐
[illegible] 牛方
[illegible] 大[illegible] 田も植 蔦袋
[illegible] 鶴の[illegible]鳴く 新月
[illegible] 書[illegible] 柳風
[illegible] 謎[illegible]かけく 恋方
文科の月[illegible] 一丁

[illegible] 柳東
[illegible] 風牧
[illegible] 東及
[illegible] 不東
[illegible] 貸 [illegible] 歩方

雑

人[illegible] 故人

八月の末に宮ゝ十日

仏ゝ面ゝ笑ひて　芝山

ゝゝゝゝゝゝ性とくゝる　牛島

義市の繋ぎ馬ゝゝゝゝ　七川

生て殺し　あり　二十夕殺も　あり　芝

神ゝゝ馬ゝの　ゝ書月　風祝

ゝゝゝゝ　ゝ　ゝ　文石

ゝゝ入ゝゝゝゝ　ゝ　出ゝ

ゝ馬ゝゝゝ　ゝ形ゝ　ゝ相

ゝゝゝゝゝゝ　ゝ　寺ゝ

枝の切ゝ　ゝ　ゝ帰ゝ　ゝ

大ゝゝ中ゝ　鈴ゝ　ゝ　栗面

鬼と　ゝゝ　ゝ様ゝ　ゝ定　文祝

ゝゝゝゝゝ　ゝ　ゝ　竹二坊

ものゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

新定

新定や破れそめたる初ひ
ちる色ふかむ　專之

きるとは使ふ梅をおろし　竹二切
ひめ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　忠弓
用ふ[illegible]用出やすまる枝の形　文石
みる[illegible]ふ[illegible]きる　妹　李[illegible]

牛蒡

名詠

行幸やむ出[illegible]中[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　東坂　荷風
むらうふ[illegible]ふ[illegible]ほ[illegible]ふ[illegible]　登山
むふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　姫行
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　女郎
ふ[illegible]人出ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　樂之
あ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　未玉
ま[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]　松雪坊

月は鼻はちまの指るや事に　仏は坊
[illegible]　極楽坊
[illegible]　面に
[illegible]　巴に
[illegible]　下住
[illegible]　藤茶
合はやらはあるまへ田舞まと　真赤
[illegible]　有楊

さのふそくなる過ちおこる義　鐵竹
[illegible]　雲又
あれくに[illegible]　一口
辭さまの[illegible]　[illegible]
きのうや稲[illegible]　牛歩
[illegible]　[illegible]
[illegible]　之肯
[illegible]　文蔡
[illegible]　石手

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 和哥

[illegible] 帰れを

[illegible] 一止

[illegible] 望石

[illegible] 化寄

[illegible] 吉之遠 夕口

[illegible] 風竹

[illegible] 松之

[illegible] 松右

[illegible] 吟望

[illegible] 蓬瀛

[illegible] 冊ム

[illegible] 止多

[illegible] 上新田 松尾 石

[illegible] 中田 琴言

霸王樹 出家法師第四月之比 三ケ尾 出多

あれ中一月ハ久しく名石　大星　芦垣
枯めけと中も　一十三　尚家坊
一ちよあいふるよりてまて　福田社中天保　来
を船後うけくるまてもえい　今　一丁
名月や魚出る跡の中　張形　九郎
ちくさと帯や月をう　江戸　嵐袋
ま松帯くや魚仲　新月
蓑さのさくふと　江戸　青雨

面をれくめれくさふ　川東　文石
蕎も魚をハ　川戸　梨雨
ちれ雨やちくさ蕎の　桂雨
ちくくれちふ　紫外　専之
えちちち谷の庵　住名　ひぬ
名月や一ト月ま　雪雨
松ちれよちまる　伊勢　風和
まのちくれお　川

有明月のかたぶくこゝろ　まさえ

ねたしとはこゝろもとなさるる　福田　芝山

さゝの葉にあらぬ人の来る　来久

ふるさとのちりにまじりてもとゝれる　まさ枫

柿のもみじ人を遮る月あるゝ　柳風

きりとりやかゝるまゝのめるる　牛を

あはれとはきとまりてふるまれる　棠雨

きのふまでかくこゝろあり　牛雨

元禄のころの書の作りたる句　牛二坊

笠あるかくやくるかれるよ　仝

あるはかりしきるまれるる月ゝれ　仝

衣脱ぎてうるうるまゝ　仝

そんくとかうしちうるまゝ　東新　倭竹

なるものやはくしや年寄　金谷　一朱　え

ゝるくこゝれいかゝ　松山古人　柳志

うゑうゑさくらばるとや 桜 和田吉人 田舎

法心

桜うゑ桜ちるや 桜 武五郎市 ぬれ坊

木屋や竜のちるこゑ 大坂 素柔

十雲よのかしらに 上総 桂下坊

鳥一羽ちりやきの 甲斐 鶴翁

二十ぬよりみれば 蕉雨

桜葉ゑうゑ 桜 駿河 星秋

おちあやもむこせとゑ 紀伊物見 巴遠

ちるを花ゑ一二日 名古屋 素烟

義仙や法ゆこむ 伊勢桑名 梨葉

むらゑのゑ 越後柳崎 亀陽

うゑあるゑれや 金毛洞 桜成

むゑ住ゑふ 長崎小方 琴

ちれあるゆうゑ 京 素吹坊

同法寺ゑのゑれ 出羽 清れ

[illegible]

[illegible]

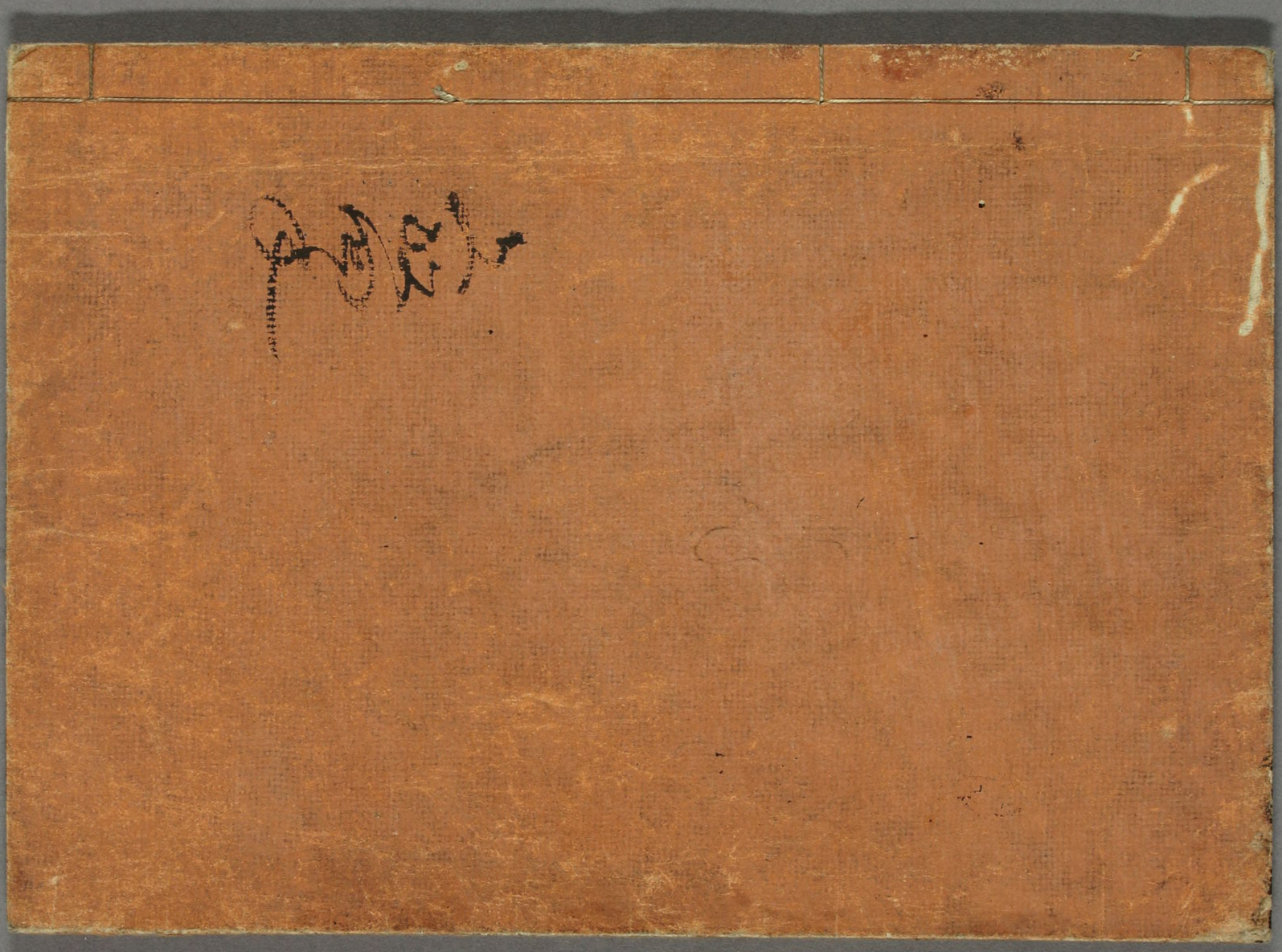
[illegible]

温故誌

故翁姓松尾諱宗房字忠右衛門伊陽阿
拜郡植柘村之産也其先為弥平兵衛宗
清之裔孫父儀叟諱宗俊娶豫州宇和嶌
机池氏之女生三男二女長宗重仕藤堂
主殿次宗以翰墨為友固為處士也次翁
翁仕藤堂良精良精之男主計良忠號蟬
吟為季吟之門翁亦愛之蓋蟬吟早世翁

深傷悼意無當世因竊欲懸冠即乞之不
聽焉至不得止之而京師學誹于李吟七
年誹成下燕都住深川偶植一草悉繁茂
以故自號芭蕉葺挑青〻屢叅佛頂禪師
已得滑稽之趣於是以改誹作俳而後門
人弥益多焉從是遊歷諸國勝地佳景所
至之吟詠亦不少也元禄七年歸本州伊
賀携支考惟然過奈良難波於浪花臥病

終不起時十月十二日也享年五十有一
歲矣門人各之哭以葬于粟津義仲寺焉
嗚呼翁滑稽之長風流之冠實亡風祖果
不可忘想像如吞泉思其源余頗受翁之
癡困同藩之緣即記建昌文政三歲次庚
辰二月彼岸

伊賀羽林臣致仕竹三坊識

彫工 東都
廣井秀峨